

# Endoscope Assisted Extended Transsphenoidal Approach で 全摘出した頭蓋咽頭腫の 1 例

小松 文成 継 仁 小松 美香  
大城 真也 大村 忠寛 阪元政三郎  
池田 耕一 福島 武雄 井上 亨

福岡大学医学部脳神経外科

要旨：症例は53歳男性．頭痛，左視力低下を主訴として来院した．神経学的には左耳側上1/4盲があり，内分泌機能は，軽度の前葉機能低下がみられた．頭部 MRI では鞍内から鞍上部にかけて T1-，T2-強調画像（WI）で high intensity を呈する嚢胞性病変を認め，一部充実性部分を含んでいた．内視鏡補助下に extended transsphenoidal approach を施行し，腫瘍を全摘出した．病理診断は頭蓋咽頭腫であった．頭蓋咽頭腫に対し，extended transsphenoidal approach は適応を選択すれば，安全で有効な方法であると思われる．

Key words：拡大経蝶形骨洞手術，内視鏡，頭蓋咽頭腫，視野障害